

令和 7 年度

水道メーター検定満期取替業務委託

(松江鹿島上水分)

(玉湯上水分)

(東出雲上水分)

(旧松江簡水分)

(旧島根簡水分)

(旧美保関簡水分)

(旧八雲簡水分)

(旧八束簡水分)

共 通 仕 様 書

松江市上下水道局

第1章 総則

(目 的)

第1条 この仕様書は、旧松江鹿島水道企業団、旧玉湯、旧東出雲水道事業の給水区域（以下「上水」という。）並びに松江市旧簡易水道事業給水区域（以下「簡水」という。）において、松江市上下水道局（以下「発注者」という。）が業務委託する水道メーター検定満期取替業務（以下「業務」という。）について、業務内容及びその他必要な事項を定める。

第2章 一般事項

(作業者の届出)

第2条 業務の作業に従事する者は、受注者が雇用している従業員を事前に発注者に申請し許可を得た者とする。

(作業時の服装)

第3条 作業者は統一された服装で業務を行い、水道の使用者、水道管理人、給水装置の所有者及び代理人（以下「使用者等」という。）に不快感を与えないよう常に衛生的、且つ清潔感のある身なりに心がける。

(証明書の携帯等)

第4条 作業中は必ず発注者が発行する証明書をホルダーに付け常時表示するとともに、社名を記載した腕章を着用する。

(使用資材等の負担)

第5条 作業に必要な水道メーター（以下「メーター」という。）及びメーターパッキンは発注者が支給する。その他の資材及び工具については、受注者の負担とする。

(メーターの管理)

第6条 出庫したメーター及び取り外したメーター等は、受注者の責任において保管する。その間に、紛失またはき損等があった場合は、受注者がその損害額を弁償する。また、出庫したメーターに取り付けられているキャップは業務直前まで取り外さないこと。

(業務期間)

第7条 上水（玉湯は除く）の業務については、定例日である月（以下「検針月」という。）の25日から翌月の23日までとする。旧簡水、玉湯上水の業務については、検針月の18日から翌月の23日までとする。ただし事前に発注者の承諾を得た場合は、この限りではない。また、検定有効期限内に業務を行う。

(事前確認)

第8条 業務場所に不良箇所及び漏水等がある場合は、業務を中止し、『水道メーター検定満期取替業務連絡票』（以下「連絡票」という。）においてその詳細を報告する。ただし、メーター二次側漏水で、使用者等の承認を得た場合は業務を行えることとする。

(給水の停止状態等の取替)

第9条 給水の停止または水道の使用中止等の状態で業務を行った場合は、止水栓等を業務前と同じ状態に戻す。この給水の停止の状態とは、止水栓に停水キャップが設置またはメーターボックス内に「停水中」の札が入っている。また、水道の使用中止等の状態とは、止水栓が閉ま

っている。

(業務が出来ない場合)

第10条 メーターの位置が不明なとき、またはその他の事情により業務が不可能な場合は、連絡票にてその詳細を報告する。

(使用者等の対応)

第11条 業務対象となった使用者等に対しては、不快な感情を与えないように接し、必ず事前に作業内容を説明し、断水及び掘削の許可を得た後業務を行う。業務終了後は清掃を行い、使用者等に終了の報告をし、水道の使用者が在宅である場合は、しばらくの間（空気が混ざった白水が出なくなるまで）放水を依頼する。又、業務についての使用者等からの苦情・問い合わせに対しては、受注者の責任において対応すること。

(業務によるメーター逆付)

第12条 業務後に水道メーターが逆付であることが判明した場合、受注者は速やかに新しいメーターの支給を受け、受注者の負担により取替を行うこととする。この場合、受注者はメーター損害額を弁償しなければならない。

(業務による漏水)

第13条 業務後に漏水が判明した場合、受注者および発注者にて現地の状況を確認し、業務が原因で漏水したものについては受注者の負担により修繕を行なうこととする。この場合、受注者は漏水分の水道料金相当額を弁償しなければならない。

第3章 検満取替に関する事項

(業務内容)

第14条 業務は、発注者から指示のあった地域を指定期間内に行う。対象となるメーターの管理は、発注者から配布する検満メーター集計表（以下「集計表」という。）にて行う。

(作業の告知)

第15条 受注者は、発注者指定書式『水道メーター取替えのお知らせ』を作成し、使用者等に対しておおむね業務三週間前から一週間前までの期間に届くように郵送する。

(取替メーター)

第16条 集計表の内容に一致する設置場所および番号のメーターを取り替える。また、取替メーターに集計表の内容と相違した点があれば、業務を止め、連絡票にその詳細を記載し発注者に報告する。

(メーター取付け作業)

第17条 取付け作業時には、メーター本体にある矢印（流水方向）を確認し、水平かつ流水方向の表示通りに設置する。このとき給水装置内に汚水、砂などが入らないようにし、パッキンと、メーターのパッキン接触面及びネジ部に砂等の付着が無いように注意し取付ける。取付け後は放水等を行い、メーターが正常に作動すること、メーター周りに漏水がないことを必ず確認する。

(復旧作業)

第18条 作業場所の復旧作業は丁寧に行い、取替に伴って発生した土砂等は、受注者の責任に

において適正に処理をする。

(使用者等への報告)

第19条 受注者は、発注者指定書式『水道メーター取替え作業終了のお知らせ』を作成し、作業後に使用者等に対して配布する。また、このとき事業所名ならびに担当者名を必ず記載する。

第4章 メーターの出庫・返納及び履行報告

(メーター出庫)

第20条 設置するメーターの出庫は、口径・個数及び出庫日を発注者と協議し、発注者の指定する場所で行う。このとき、受注者はそのメーターの「預り証」を発注者に提出する。

(履行報告)

第21条 履行報告は、原則として業務を行った日から3営業日までに、次に掲げる事項について報告する。

(1) 集計表及び日報の提出。

(取り外したメーターの番号と最終指針及び取り付けしたメーターの番号と開始指針が確認できる写真を添付すること。)

(2) 第8条、第10条、第16条に該当するため作業を止めた取替対象メーター。

(メーター返納)

第22条 メーター及び取り外したメーターは全ての業務が完了後、集計表(様式6)とともに返納する。また、取り外したメーターについては必ず洗浄する。発注者から預かった未使用のメーターは「返却証」とともに返納する。

第5章 補償

(使用者等へ損害を与えた場合)

第23条 受注者は、使用者等を与えた損害の補償に係る処置の指示に対しては、速やかに対応できる体制を敷き、連絡票にその処理内容を詳細に記述し発注者へ提出し報告する。

第6章 雑則

(協議)

第24条 この仕様書に定めのない事項については、発注者と受注者が協議して定めるものとする。

【検針月】

松江鹿島上水の検針月は奇数月（ただし、打出町・上佐陀町・古志町・古曾志町・薦津町・下佐陀町・荘成町・西生馬町・西谷町・西浜佐陀町・浜佐田町・東生馬町の検針月は偶数月）

玉湯上水の検針月は奇数月

東出雲上水の検針月は奇数月

旧松江簡水の検針月は偶数月

旧鹿島簡水の検針月は奇数月

旧島根簡水の検針月は偶数月

旧美保関簡水の検針月は偶数月

旧八雲簡水の検針月は奇数月

旧八束簡水の検針月は奇数月